

# 南三陸 福幸きりこ祭

--- 白い紙で彩るみんなの記憶 ---

## 8.25 | 土 | ~ 9.11 | 火 |

南三陸さんさん商店街 (宮城県本吉郡南三陸町志津川御前下 59-1)

歌津伊里前福幸商店街 (宮城県本吉郡南三陸町歌津字伊里前 96-1)

南三陸町志津川地区旧五日町商店街・おさかな通り付近

南三陸さんさん商店街フードコートには 2010 年に展示した作品を始め、震災後にかがった話をもとにつくられた 57 点のほか、各店の軒先にも約 100 点の「きりこ」が展示されます。

伊里前福幸商店街にも、各店を表す 7 点の「きりこ」がお目見えします。

また、志津川地区の五日町・十日町付近には、そのきりこを大きなボードにして、それぞれの敷地に海に向けて展示します。今もなお海にいらっしゃる方々に、そして遠い空にも、今、町の人たちが懸命に力を合わせて生きていることを、福幸きりこ祭で伝えたいと思います。



## 白い紙で彩る朗読会

### 8.25 | 土 | 17:50 ~ 18:30

会場 南三陸さんさん商店街特設ステージ

白い紙で彩られた町のみなさんの物語を朗読する夏の夕べ。

かつての町並みの写真も暗くなり次第、映写いたします。

出演 / 渡辺祥子 佐藤正隆



主催 ENVISI (アート・イニシアティブ・エンビジ)  
<http://www.envisi.org>

共催 一般社団法人 南三陸町観光協会

助成 **Asahi** アサヒグループ芸術文化財団  
公益財団法人 文化・芸術による福武地域振興財団

特別協賛 **Asahi** アサヒビール株式会社

後援 南三陸さんさん商店街 歌津伊里前福幸商店街

協力 彩プロジェクト  
すみだ川アートプロジェクト (デザイン & 制作 8 点)  
国営みちのく社の湖畔公園 (2010 年きりこ制作)  
ART LAB OVA (取材・きりこデザイン & 制作)  
女子美術大学アートプロデュース研究室 (デザイン & 制作 20 点)  
愛知淑徳大学メディアプロデュース学部 (設営・映像記録)  
八戸ポータルミュージアム はっち (2010 年きりこ制作)  
ブルデンシャル生命保険株式会社 (2012 年きりこ制作)  
独立行政法人 防災科学技術研究所 (機材協力)  
佐藤由美 (取材)  
齋藤麻紀子 (取材)  
高橋京子 (デザイン & 制作 4 点)  
南三陸町立志津川小学校  
南三陸町立伊里前小学校  
有限会社 盛堂  
株式会社メディアゲートジャパン  
有限会社ダ・ハプランニング・ワーク  
H@FM (はっとエフエム)  
阿部藤建設株式会社 (敬称略)

## 南三陸の海に 思いを届けよう

### 9.11 | 火 | 14:45 ~ 15:30

会場 南三陸町志津川五日町周辺

震災から 1 年 6 ヶ月が経つこの日、南三陸の海に向かい、愛すべき亡き人々、いまだ海にいらっしゃる方々に、思いを届けます。

五日町周辺には、大きなボードを切り抜いた「きりこ」を海に向けて展示。海に向けて、音楽を奏でます。

今、苦難の時を力を合わせて生きている人たちの姿を音楽にのせ、朗読で伝えます。

出演 / 鈴木美紀子 佐藤正隆 渡辺祥子

2010年夏、私たちは、南三陸町産業振興課のお力添えにより、女性たちのまちづくりグループ「彩プロジェクト」とともに、志津川地区のメインストリートに面した家々を訪ね、町の人たちが大切にしてきたこと、お店にまつわるエピソードなどをお聞きしました。そして、その話を白い切り紙にするプロジェクトを行いました。この地域の神棚には、「きりこ」と呼ばれる美しい切り紙が飾られており、それに着想を得て、それぞれの店や家を表す切り紙を作ったのです。志津川地区の駅前から五日町商店街、おさかな通り、南町などのお店の軒先を650枚のきりこが彩りました。

それは、人々の心に生きている記憶を、町の人たち自らの力で、見える化し共有する試みでした。南三陸町の人々は、津波や大火など度重なる災害にも負けず、知恵を出し合い汗を惜しまずに何度も町を再建し、生き抜いて来ました。その先人たちの姿や、お店のポリシー、町の人々とのかかわりを、みんなで作った「きりこ」を通して目に見える形に表したのです。

白い切り紙が彩った南三陸町のまちなみは失われてしまいました。記憶のよすがが消えてしまった今、これまでの町の姿や人々の生業について未来に伝えていくことは、以前にも増して大切です。そして、苦難の時を生き抜こうと、今がんばっておられる町のみなさんの姿を、未来に伝えていかななくてはなりません。

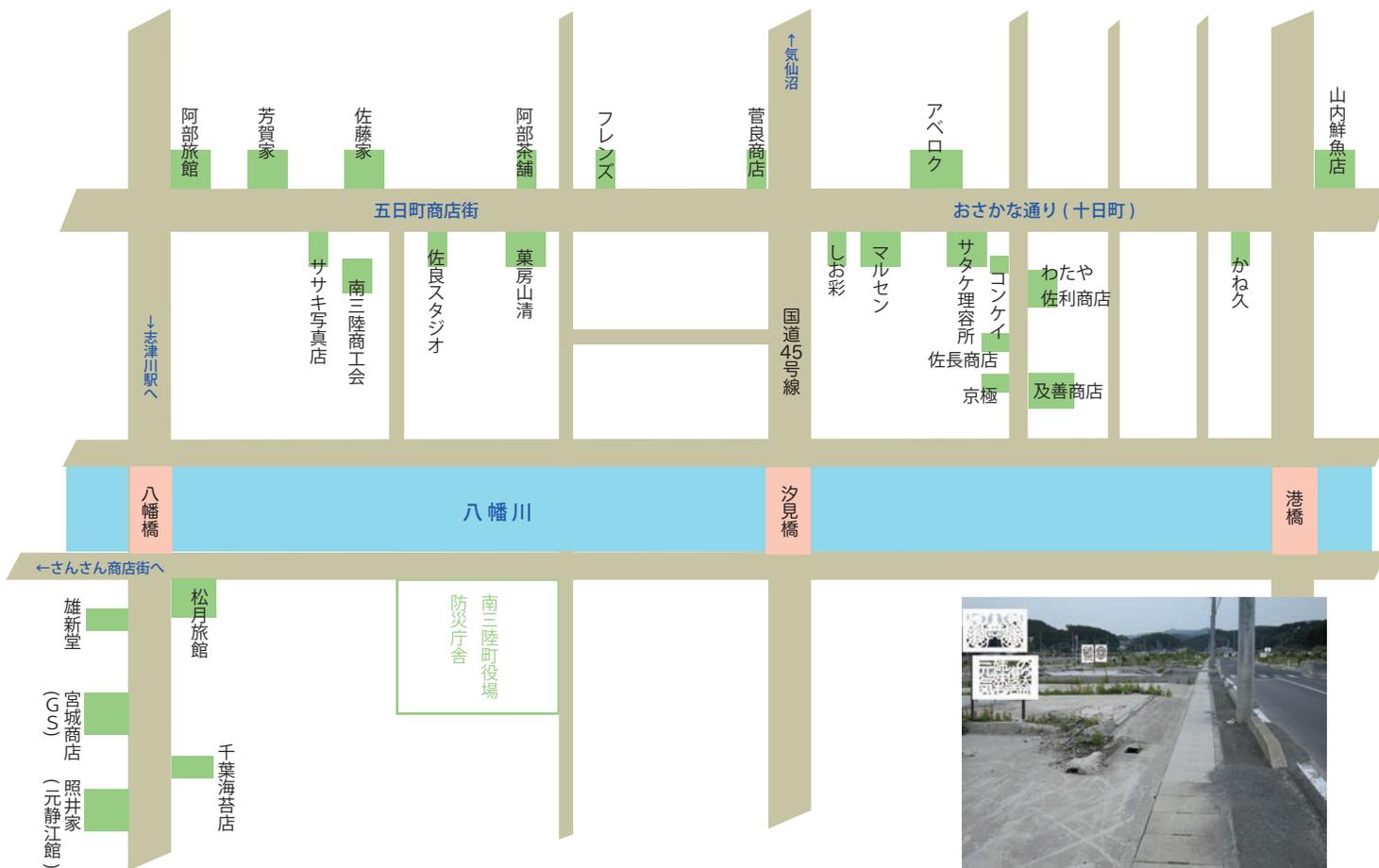
今回の福幸きりこ祭では、2010年に制作した作品の中から19点を復刻し、かつての店の外観写真とともにご覧いただけます。また、インタビューにお答えいただいた歌津・志津川両仮設商店街のみなさまを中心に新しい作品を44点、そして、志津川小学校、アサヒビール、女子美術大学、すみだ川アートプロジェクト、ART LAB OVA（横浜）、みちのく杜の湖畔公園、プルデンシャル生命のみなさんのご協力で作られた約100点あまりの作品も展示いたします。

また、志津川地区の五日町商店街からおさかな通りエリアにかけて、そのきりこを大きなボードにして、それぞれの敷地に展示しました。今もなお海にいらっしゃる方々へ、そして遠い空にも、今を懸命に生きている町のみなさんの姿を届けたい。そんな思いから絵柄のそばに、みなさんの姿を文章にして展示することにしました。

あわせてご覧いただければ幸いです。

白い切り紙は、今を懸命に生きている町の人たちの証そのものです。

## きりこ屋外展示マップ



### ●「きりこ」とは

宮城県塩竈市から三陸地方南部では、神社が正月の神棚飾りのために縁起のいい模様を切り抜いた半紙「きりこ」を、年末に配布する風習があります。神社ごとに伝わる「きりこ」のデザインはそれぞれちがいますが、抜いたどれも美しいものです。漁業がさかんな南三陸町では、大漁や漁の安全を願って「きりこ」を神棚に一年を通して飾る家も多いのです。